

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2025年													2026年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 ~7日	12月 ~14日	12月 ~21日	12月 ~31日	1月 ~11日
カンピロバクター	18	14	38	22	23	36	38	43	27	27	24	6	7	5	0	8
病原性大腸菌	23	107	90	91	71	93	78	97	83	48	44	13	23	15	1	11
腸管出血性大腸菌	0	0	1	0	2	3	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	1	3	8	3	6	11	12	11	11	1	0	0	0	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	15	6	8	9	16	8	28	10	20	7	2	3	7	0	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	9	14	13	9	11	5	16	10	10	4	4	4	4	1	4
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
その他	0	3	2	1	1	1	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	11	37	10	6	2	2	0	3	0	0	0	0	1	0	1

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和8年第2週(1月5日～1月11日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	3	結核	3					1		2
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1	1						
四類	4	A型肝炎	1					1		
		レジオネラ症	3	1				1	1	
五類	12	劇症溶血性レンサ球菌感染症	1							1
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		梅毒	1			1				
		百日咳	9		2	1		1	2	3

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町

西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町
北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和8年2週(1月5日～1月11日)

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり8.91人の報告があり、注意報レベル（定点当たり10.0人）を下回りました。第49週のピーク以降、減少が続いているですが、多い状況です。また、迅速診断キットの検査結果では、B型インフルエンザウイルスの割合が増加傾向です。引き続き、手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果（市内2か所の協力医療機関による）
第2週 A型：64人、B型：18人

2 感染性胃腸炎

定点当たり4.81人の報告がありました。冬季はノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が増加します。ノロウイルスは、感染者の便や吐物に多く含まれ、飛沫や人の手などを介して経口感染します。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

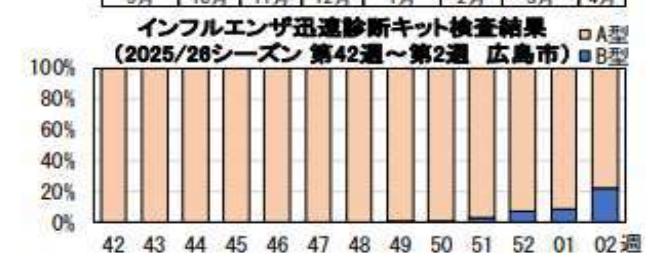
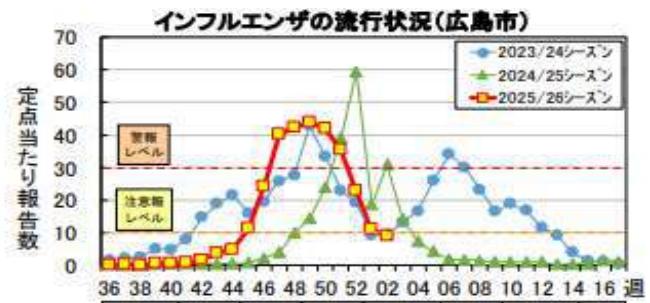
■定点把握感染症報告状況（週報対象）

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症（ARI）	1802	53.00	/	小児科	突発性発しん	5	0.24	0.17	/	急増減
	インフルエンザ	303	8.91	9.17		ヘルパンギーナ	-	-	0.05	/	増減
	新型コロナ（COVID-19）	12	0.35	/		流行性耳下腺炎	-	-	0.02	/	微増減
小児科	RSウイルス感染症	8	0.38	0.20	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	/	横ばい
	咽頭結膜熱	6	0.29	0.68		流行性角結膜炎	7	0.88	0.88	/	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38	1.81	0.93		細菌性結膜炎	-	-	-	/	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
	感染性胃腸炎	101	4.81	6.14		無菌性結膜炎	-	-	-	/	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
	水痘	11	0.52	0.18	基幹	マイコプラズマ肺炎	9	1.50	0.47	/	ほとんど増減なし
	手足口病	-	-	0.29		クラミジア肺炎（オウム病を除く）	-	-	-	/	報告数が少數の場合などは、発生記号を記載していません。
	伝染性紅斑	2	0.10	0.05		感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	-	/	（注）過去5年間の同時期平均（定点当たり）
											急性呼吸器感染症（ARI）定点数（内科・小児科）

前週（第1週）は、年末年始の休診により、報告数が影響を受けている可能性があり、今週（第2週）と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	1	20歳代・推定感染地域：国外
4	A型肝炎	1	1	70歳代
4	レジオネラ症	1	1	80歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1	80歳代
5	百日咳	1	1	10歳代



急増減	↑	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↑	↑	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↑	↑	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	□	□	ほとんど増減なし

報告数が少數の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症（ARI）定点数（内科・小児科）	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

（注）過去5年間の同時期平均（定点当たり）